

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第127号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年4月18日 08時30分ごろ	
発生場所	徳島県徳島港沖 (概位 北緯34°03.6′ 東経134°38.5′)	
事故等調査の経過	平成21年5月12日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 フェリーつるぎ、2,604トン	
船舶番号、船舶所有者等	135032、南海フェリー株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長、二級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷主機過給機のラビリンスパッキン損傷	
事故等の経過	本船は、航行中、平成21年4月18日08時30分ごろ、右舷主機過給機の回転数が、通常14,000rpmのところ12,000rpmに低下したので、両舷主機の負荷を共に下げ、通常17ノットの運航速力を16.5ノットとし、自力航行を続け、定刻に目的港に入港した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、航行中、右舷主機過給機のラビリンスブッシュとロータ軸が僅かに接触するようになったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が航行中、ラビリンスブッシュとロータ軸が僅かに接触するようになったため、過給機の回転数が低下し、主機の正常運転が阻害されたことにより発生したものと考えられる。	